

令和 4 年度 今治市さざなみ園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市さざなみ園
所在地	今治市大三島町宮浦336
指定管理者	<p>名 称 社会福祉法人で・ふ・か</p> <p>代表者 理事長 真鍋誠子</p> <p>住 所 今治市常盤町5丁目2-39</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運營業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>健康福祉部障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	さざなみ園の基本方針や地域に於いて担う役割等について職員間で共有しサービス提供に努めました。新規事業(さをり織り)を行いサロン活用の幅を広げることが出来ました。	A	施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、おおむね適切な運営が行われています。
利用状況	B	延べ利用人数及びサロン利用者等は前年度より増加している。実人数の減少については、施設入所や死亡があり減少した。新規入所者も若干ではありますが入所に至っています。それ以外の通所困難者、欠席回数が多い利用者に対しては関係機関等と連絡を密に取り利用者への対応を検討しております。	B	延べ利用者数は増加の傾向にありますが、実利用者数は前年度比で減少しています。しかしながら、見学、体験者の中から新規の利用者に繋がっており、さざなみ園の魅力をしっかりと発信していただき、魅力ある施設として管理運営をお願いします。
事業収支	B	収支差額がマイナス計上となったが、サービスの質の向上を目指し環境改善の為、修繕等を行いました。また、有資格者を配置し個別支援の強化を図りました。	B	収入、支出とも適切に管理できています。有資格者の配置や施設の修繕で支出は増加していますが、利用者ニーズ及び施設の修繕等必要に応じた適切な支出となっています。また、今後とも利用しやすい施設づくりを考慮した運営に取り組んでください。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	A	職員間で情報を共有し、細やかな支援が出来るように努めました。施設内研修に於いては障がい者の視点に合わせた指導方法や制度等を学び、福祉サービスをする上で必要な知識や意識の向上に努めました。	B	昨年度の体制に加え、有資格者を配置しています。また、毎月定期的に職場内研修が行われており、利用者へのサービス向上の取り組みが行われています。
管理運営業務	A	管理業務に於いて仕様書に定められた基準に従い、行うことが出来ました。日々の訓練、イベント時に於いてはコロナ感染対策を取り地域交流を目的とした生産活動や作品作りに取り組みました。コロナ禍に於いて、サロンでの飲食物提供が困難な為、作品展示場所としてサロンを活用しました。地域交流、障がい者の社会適応能力を伸長させる取り組みを行いました。	A	仕様書に定められた基準に従い管理できています。内容に応じ自身での対応、委託するなど適切にできております。また、清掃業務では、利用者も作業終了後に職員と一緒に清掃することもあり施設全体で美化に取り組んでいます。
利用業務	B	延べ利用人数、実利用人数は昨年に引き続き目標値に届きませんでした。しかし入園者が2名おり、次年度以降に希望をもっています。	B	施設案内用パンフレットやイベント情報チラシを作成し、機会あるごとにPRできています。これらが見学、体験、問い合わせに繋がっていると考えられ、効果も見受けられます。
その他業務	B	イベント開催時には臨時開所することで休日にも利用できるように努めました。また、利用者の多くは大三島以外から通われているため送迎時には天候に留意し、所轄課と相談し事故につながらないように努めました。	B	各種マニュアルは整備されており、避難等訓練も実施されています。防災士・救急救命士の資格を持った職員も配置されていますので、引き続き利用者の安全に配慮した管理運営をお願いします。
修繕業務	A	利用者の安全を確保するためまた、安全に送迎できるように車の点検を行い、必要に応じて部品交換等の修理を行いました。今後も利用者が安心・安全な場所において日中過ごせるように計画的に定期点検を行います。利用者が快適に過ごすために、建具の修理、網戸の張り替え、庇の防水修理等を行いました。	B	利用者の安全のための送迎車両の整備が適切にできています。また施設の老朽化が進む中、必要に応じ修繕もできていますので、今後とも日頃の点検をしっかりと行い、計画的な管理修繕に取り組んでください。
備品管理業務	A	今後も利用者のニーズに応えられるよう、備品の購入を検討していきます。	B	昨年度に続き、今年度も備品の購入はありませんでした。備品の老朽状況を把握し、必要があれば、利用者のニーズを考慮した備品の購入・管理をお願いします。
行政財産の目的外使用許可手続業務	—	対象外	—	対象外
自主事業	A	コロナ禍の中、昨年度に引き続き地域のイベントがなくなり参加ができませんでした。代替え事業として、サロン活動をコロナ感染予防に努めながら絵画の展示、さをり織展などを行い、地域の方々に参加を頂きました。次年度も引き続き、計画し実施したいと考えます。	B	新型コロナウイルス感染症の影響のため、計画どおり実施できていません。しかし、それに替わる絵画の展示やさをり織展等を実施するなど工夫をこらして事業実施ができています。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
地域団体との連携	A	利用者の社会的自立の促進を図るための支援、相談及び指導に関する業務を行いました。交流事業においてはコロナ感染対策を取り、実施することができました。	A	利用者の社会的自立につながる地域団体との連携が考えられています。参道清掃など地域とのつながりも大事にできています。 立地の問題もありますが、施設自体の地域での認知度がさらに高まるよう引き続き頻繁な交流活動をお願いします。
利用者アンケート	A	回答数は減少したが、記述質問の追加、自分で記載してもらうことにより、要望が増えたように感じます。今後も、もっと利用者の要望をくみ取れるアンケートを実施したいと思います。アンケート結果については、利用者へ公表している。	B	施設や設備、職員の対応についてはおおむね満足度は高くなっていますが、更なる満足度向上を目指してください。また、利用者のニーズを的確に把握し、作業・事業等の実施や施設環境の充実につなげてください。
事故・苦情	A	利用者の安全第一に努めるために職員の意識向上に努めました。送迎に関しては緊急事態に備えて連絡が取れるよう体制をとっています。また、異常気象で天候が不安定な場合は送迎を中止する等、配慮しました。	A	R4年度は利用者に直接関係する事故ではなかったものの自動車による事故が発生しています。十分に注意した運転をお願いします。また、今年度も苦情は発生していません。起きてしまった際の対応などについては普段から体制作りは欠かさないようにお願いします。
指定管理者の経営状態			貸借対照表等については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

総合コメント(市)

島しょ部において唯一の精神障がい者、知的障がい者、身体障がい者が通所可能な公設作業所として、島しょ部で重要な拠点となっています。大島、伯方島、大三島の利用者が通所しやすい環境を作るため、送迎を実施し利用者の足を確保しています。陸地部に比べ施設運営が大変な立地条件ではありますが、関係機関と協力し連携を図っています。障がい者施設の枠組みを超えて地域活性化へ繋がる活動を行うなど、他とは違う施設としての存在感を示しています。引き続き、島しょ部における作業所として、また地域交流の場としての活躍を期待します。

指定管理者選定審議会による総合評価

B	<p>地域との接点を持った事業展開ができています。また、シーグラスや流木を利用した商品の開発はいい取り組みだと思う。そのような中、指定管理者には、利用者の拡大及び利用者の通所回数を増やすために、工賃アップにつながる作業の実施、販路拡大に取り組んでもらいたい。</p> <p>また、利用者が生きがいを持って楽しく施設に来てもらえるように地域交流の拠点としての事業の継続に加え、MAYA MAXX氏や大三島美術館とのコラボもどんどん実施し、施設のPRや利用者拡大につなげるとともに、新たな事業展開も期待したい。</p> <p>公用車の事故が短期間で続けて起こっていることについては、施設全体で危機管理体制の向上を図るとともに、利用者の安全な送迎を行っていただきたい。</p> <p>最後に、地域密着型の施設として今後の事業展開に期待したい。</p>
---	--